

モニターレポート（2月報告）

【報告内容①】

平日の阿賀野川公園の雪捨て場で、雪山をショベルカーで崩していました。休日に立入禁止等の看板などがあつたら良いのではないかと思います。

小杉堤防下では、大型クレーン等による工事が行われていました。

【事務所からのコメント】

雪捨て場では、融雪を促進させる目的で重機での作業をしていると認識しています。休日などの看板等の設置に関するご意見については、当事務所としても同様に感じておりますので、新潟市へ連絡をしたいと思います。

新潟市江南区蔵岡地区では、昨年からの河川の水あたり部の対策工事を実施しており、大型のクレーンなどで作業を行って参りましたが、今年3月末に今回の工事については完成予定です。この場所で堤防が決壊した場合には、鳥屋野潟まで洪水の水が到達する可能性があり、この地区は重要な対策場所となっております。

【報告内容②】

川辺の草の上を歩くと、モグラが通ったと思われる盛り上がりが多く、モグラが多く生息していると思われます。

堤防にとってはあまり良くないのかなと思いますが、自然保護の観点から考えると一概に悪いとはいえ、難しい問題だと思いました。

【事務所からのコメント】

モグラの生息について、例年、特に雪解けの堤防の法面で多く見受けられます。堤防に対しては良いものではありませんが、軽微なものも多いことから巡視等で注視しているというのが実情です。

ただし、毎年出水期前には、管内全ての堤防や護岸などを徒歩で詳細に点検をしております。その際に、動物による堤防の損傷や道路排水による法面の浸食についても確認をしており、補修が必要な箇所については速やかに対応を行っております。

モニターレポート (2月報告)

【報告内容③】

1月29日に新潟市民プラザで行われた「新潟市遺跡発掘調査速報会」という講演会・報告会に行ってきました。

今まで知らなかったのですが、江南区の道路(横越のバイパス)の整備事業に伴う発掘調査があり、そこで江戸時代以降の土地の利用の痕跡が見つかったそうです。

また、須恵器や土師器、そして珠洲焼などが出土し、阿賀野川左岸の旧自然堤防には筑木遺跡という遺跡が立地していたとのことでした。

昔から、阿賀野川の自然を利用して人々が生活していた様子が伺えました。

【事務所からのコメント】

ご報告にありました筑木遺跡を調べましたところ、奈良・平安時代の遺跡とのことでした。新潟市のホームページにあった遺跡分布図を見ますと、阿賀野川左岸側の横越～亀田周辺に多く遺跡が分布しております。

バイパス道路などの工事では遺跡調査を行い、遺跡が出てきたという話は聞きますが、河川工事では大規模に土地を改変する工事は多くありませんので、遺跡調査を行い遺跡が出たという話はあまり聞きません。

阿賀野川周辺のように、低湿地で水害が多かった場所に、こんなに多く遺跡があったことに驚きました。

【報告内容④】

磐越自動車道橋梁の近くの河川敷小道脇に、古い電化製品などが投棄されており、また近く羽下大橋右岸を進んだ道路脇にも大きなごみ等が捨てられていました。

阿賀野川と早出川の合流付近で行われていた樹木伐採工事現場を見て、工事規模の大きさに驚くとともに、河川管理が日々きちんと行われているお陰で安心して暮らせることを、改めて感じました。

河川敷の模型飛行機場では数人が、ルールを守り模型飛行機を飛ばしていました。農地や公園などのほか、このような活用方法があることも知り、素晴らしいと感じました。

【事務所からのコメント】

ご報告のありました早出川の河川敷に投棄されていたゴミについては、3月にゴミ処理予定がありますので、まとめて処理をしたいと思えます。

ラジコン飛行場については、市街地から遠隔地にあり、公園等の他の利用が阻害されない河川敷地に立地する場合に、必要最小限の規模で設置が認められています。

樹木伐採工事についてもご報告頂きました。早出川の阿賀野川本川との合流部は、早出川の流れが阿賀野川本川の流れにぶつかり、流れが弱まることにより、運んできた土砂が河床に堆積し、早出川の洪水が流れにくくなっています。このため、土砂を掘削し、早出川の洪水を流れやすくするための工事になります。なお、土砂を掘削する前に、生えていた木を伐採しないと掘削が出来ないため、ご報告いただいたとおり、樹木伐採も行ってあります。